

おお た あまはらし 太田雨晴観光マップ

● 太田雨晴の魅力を紹介 ●

万葉集、奥の細道 歌碑

★

洗溪の 二上山に 鷺子産とふ 翳にも 君が御為に 鷺子産とふ

★

磯之上 都萬麻乎見者 根乎延而 年深有之 神佐備尔家里

★

磯の上の つま、を見れば 根を延へて 年深からし 神さびにけり

★

洪谿を 指して我がゆく この濱に 月夜飽きてむ 馬しまし停め

★

早稲の香や 分け入る右は 有磯海

奥の細道
万葉集 巻19・4206

① 国泰寺 こくたいじ



国泰寺は、臨済宗国泰寺派の大本山であり、後醍醐天皇の勅願所としても名高い。開山忌(6月2日、3日)には、全国から集まった虚空無量の尺八と読経の大合奏がこたします。

② 武田家住宅 たけだけじゅうたく



武田家は、武田信玄の弟信綱の末裔で、代々太田村の肝煎をつとめた豪農でありました。この住宅は、重要



③ JR雨晴駅 あまはらしき



立山連峰を見ることができない場合でも、立山連峰の眺望写真パネルを駅舎横に設置してありますので、記念撮影などにご利用ください。

④ ふるさと眺望点



雨晴海岸は、能登半島国定公園に位置づけられ、自然に恵まれた風光明媚な地域です。立山連峰の雄大な眺めは一時、人の気持ちを映画のワンシーンに引きこむような強い印象を与えます。

⑤ 女岩 めいわ



雨晴海岸の女岩と義経岩が「おくのほそ道」の風景地「有磯海」として国の名勝に指定されました。

⑥ 義経岩 よしつねいわ



「義経岩」は、兄頼朝から追われた源義経主従が北陸から奥州へ落ち延びる途中、にわか雨にあい家来の弁慶が持ち上げた岩陰で雨が晴れるのを待ったという岩で、地名「雨晴(あまはらし)」の由来となっています。

⑦ 桜谷古墳 さくらだにこふん



二上山の北側に連なって、富山湾を一望できる標高約20～30mの台地に4世紀～5世紀にかけて築造された桜谷古墳群があります。2基の前方後円墳は国の史跡として指定されています。